

# 県内原子力施設に係る地域振興

令和8年2月25日

青森県

# 地域の将来像の実現に向けた取組の「工程表」

R8.1.20  
第4回共創会議  
取りまとめ

## <将来像>

### 【安全・安心の継続的な確保】

- I：安全・安心の確保を前提として、原子力施設と共生する地域  
＜防災拠点の整備、原子力防災に資する道路整備等＞

### 【原子力産業・その他産業の発展・高度化】

- II：原子力・サイクル産業と地域がともに発展するモデル地域  
＜原子力事業との共生による地域経済活性化＞  
III：新産業創出・産業高度化の先進地域  
＜地域特性を活かした産業の複線化と高度化＞

### 【高い暮らし満足度の実現】

- IV：“暮らし満足度”の高い地域  
＜デジタル技術活用により暮らしの質を向上＞

### 【人材の育成・確保】

- V：地域を創る人材の輩出地域  
＜既存産業を支える人材の確保・育成＞  
＜次世代を担う人材の育成＞

## <取組内容>

### G X青森しごとづくり推進プロジェクトの展開

若者の県内定着や還流につなげるためなど、市町村や関係機関と連携しながら、G Xの実現につながる新製品・新技術の開発やG X関連産業をターゲットとした戦略的な企業誘致や地元企業の参入を推進

### 「青森GX特別区域」の創設

G X青森を一層推進し、県内産業の構造転換を加速化させるため、「青森G X特別区域」の創設を構想。国の支援や規制緩和が受けられる「G X戦略地域」制度の活用を目指す

### 青森フュージョンエネルギー拠点形成の展開

フュージョン発電実証プラントの誘致・実現のほか、スタートアップ企業の取組を含む産業・研究開発機能の集積、次世代を担う人材の育成・確保によるフュージョンエネルギーのイノベーション中核拠点の構築を目指す

# 原子力関連産業への参入促進と受注拡大の推進

## 【概要】

再処理工場のしゅん工や、安全対策工事の本格化により、県内企業に対する発注拡大が見込まれることから、県内の参入済企業の受注拡大に加え、新たな企業の参入を促進し、原子力関連分野での雇用創出・拡大に繋げる。

## 1. 「原子力関連ビジネスフェア」の開催

原子力事業者による県内企業への発注計画等の説明や、原子力事業者等と県内企業との情報交換を行うビジネスフェアを開催する。

- ・開催： 青森市内で開催（1回）
- ・参加企業： 原子力事業者5社及び元受企業  
県内企業(建設工事、施設・機器設備のメンテナンス、ものづくり、サービス関係)
- ・概要： 原子力事業者による発注計画や、新規参入に必要な手続等の説明  
原子力事業者等と県内企業との個別面談による情報交換

## 2. 「原子力関連ビジネス振興検討会議」の開催

原子力事業者と関係機関が参集する会議体を設け、県内企業の受注拡大に向けた具体策を検討し、原子力事業者による発注拡大に向けた取組や、事業者同士や関係機関と連携した取組を推進する。

- ・開催： 青森市内で数回開催
- ・概要： 県内企業の受注拡大及び人材育成に関し、原子力事業者及び関係機関による意見交換を実施

## 3. 原子力関連ビジネスコーディネーターの設置

原子力関連ビジネスに精通した専門家による、県内企業の新規参入等に必要なアドバイスや原子力事業者等とのマッチング支援を行う。

# 県内原子力施設に係る事業者の地域振興の取組

## 【雇用】

- 日本原燃(株)の社員数は**3,107人**、そのうち県内出身者数は2,095人、地元割合は67.4%。(令和7年4月1日現在)
- 日本原燃(株)関連企業の社員数は4,669人、そのうち県内出身者数は4,054人、地元割合は86.8%。(令和7年4月1日現在)
- 東北電力(株)の県内原子力関連社員数は235人、そのうち県内出身者数は125人、地元割合は53.2%。(令和8年1月1日現在)
- 電源開発(株)の県内原子力関連社員数は132人。(令和7年3月31日現在)
- リサイクル燃料貯蔵(株)の社員数(役員除く)は82人、うち地元出身者数は21人、地元出身割合は25.6%。(令和8年2月1日現在)
- 東京電力ホールディングス(株)の県内原子力関連社員数は約130人。(令和8年1月1日現在)

## 【工事発注】

- 日本原燃(株)の立地受入(昭和60年度)から令和6年度までの工事等に係る発注額は5兆9,118億円、そのうち地元発注額は1兆1,355億円、地元割合は19.2%。また、直近の令和6年度の地元発注額は784億円。
- 他社は正確な発注額を把握していないが、地元企業の活用に取り組んでいる。

以下、資料

## 1. 青森県・立地地域等と原子力施設共生の将来像に関する共創会議

～将来像の実現に向けた取組の「工程表」のフォローアップ～

- ① G X 青森推進パッケージ
- ② 原子力関連産業への参入促進と受注拡大の推進

## 2. 県内原子力施設に係る事業者の地域振興の取組

- ① 日本原燃(株)、② 東北電力(株)、③ 電源開発(株)、
- ④ リサイクル燃料貯蔵(株)、⑤ 東京電力ホールディングス(株)

# 1. 青森県・立地地域等と原子力施設共生の将来像に関する共創会議

## ■目的

立地地域が、今後の原子力施設の稼働を見据えながら、持続的な発展を実現していくため、国・立地自治体等、事業者等が一体となり、地域と原子力施設が共生していく将来像について共に考え、共に築き上げていくための場として、「青森県・立地地域等と原子力施設共生の将来像に関する共創会議」を令和5年11月に創設（事務局：資源エネルギー庁）

## ■会議の概要等

### 【構成メンバー】

青森県、むつ市、六ヶ所村、大間町、東通村、青森地域エネルギー施設立地商工団体協議会、青森県市長会、青森県町村会、有識者、事業者、国

### 【開催実績】

- ・令和6年7月の第2回会議で立地地域等の「将来像」、その実現に向けた「基本方針」を取りまとめ
- ・令和6年10月の第3回会議で、将来像の実現に向けた取組の「工程表」が取りまとめ
- ・令和8年1月の第4回会議で、工程表のフォローアップ（来年度以降も、フォローアップを実施）

### 【工程表に基づく主な取組（青森県）】

防災拠点の維持・整備：むつオフサイトセンター整備

原子力災害に対応可能な医療体制の構築：弘前大学放射線安全総合支援センター施設整備事業

避難道路・経路の維持・整備：下北半島縦貫道路を含む国道279号の整備他

原子力・サイクル施設の稼働・操業を支える企業の参入促進：

原子力関連産業への参入促進と受注拡大の推進、GX青森しごとづくり推進プロジェクトの展開

多様な主体が連携した地域活性化の促進：

「青森GX特別区域」の創設、青森フュージョンエネルギー拠点形成の展開

# 1. ① G X 青森推進パッケージ

## 【G X 青森とは】

本県の高いポテンシャルと地域・市町村等の意欲的な取組を融合した、新たな「しごとづくり」を進めるためのプロジェクトの総称。対象としている産業は、風力関連、原子力関連、フュージョンエネルギー産業、水素・アンモニア関連、半導体関連など。

## 【G X 青森推進パッケージ】

県は、G X 青森の様々な取組内容を4つのパッケージに取りまとめた。

産業集積拠点整備	企業誘致	県内企業参入	人材育成
フュージョンエネルギーの産業化に向けた拠点形成の積極展開	洋上風力発電事業の進展を契機とした関連産業の集積	原子力関連産業への参入拡大に向けた原子力事業者の積極関与の検討	脱炭素エネルギーの産業等を支え、発展させる人材の確保・育成

# GX青森推進パッケージ

## 1 産業集積拠点整備

- 「青森GX特別区域」構想
- フュージョンエネルギー拠点形成に向けた産官学会議体による実行プラン検討、国やフュージョン関連企業へのアピール等
- 洋上風力サプライチェーンの構築検討、EEZ浮体式洋上風力関連産業誘致に向けた課題検討

※洋上風力に関連する港湾施設の整備等

## 3 県内企業参入

- 洋上風力発電ビジネスマッチング  
※NPO青森風力エネルギー促進協議会、商工会議所連合会等が主体
- 原子力関連ビジネスフェアの開催、受発注双方による意見交換機会の創出
- 経営面・技術面双方から助言を行うGX推進アドバイザーの設置
- GX関連産業への参入に向けて、企業及び大学・研究機関等が有するニース・シーズをつなぐネットワークの形成、研究会等の開催

## 2 企業誘致

- GX関連企業立地に向けたトップセールス、アドバイザーの配置等
- 台湾における立地環境プロモーションや企業誘致コーディネーターの配置等
- 産業立地促進費補助金におけるGX枠の補助内容の拡充
- 基地港湾である青森港の利用を促進するためのPR活動等

## 4 人材育成

- エネルギー人材育成のための県内高等教育機関との連携強化
- J-Fusionとの連携による大学生を対象としたワークショップの開催
- 高校生向けエネルギー関連研修等  
風力発電体験研修  
量子科学施設見学会  
東京大学研究プログラム派遣
- 原子力関連ビジネス振興検討会議

# 1. ② 原子力関連産業への参入促進と受注拡大の推進

## 【概要】

再処理工場のしゅん工や、安全対策工事の本格化により、県内企業に対する発注拡大が見込まれることから、県内の参入済企業の受注拡大に加え、新たな企業の参入を促進し、原子力関連分野での雇用創出・拡大に繋げる。

### 1. 「原子力関連ビジネスフェア」の開催

原子力事業者による県内企業への発注計画等の説明や、原子力事業者等と県内企業との情報交換を行うビジネスフェアを開催する。

- ・開催： 青森市内で開催（1回）
- ・参加企業： 原子力事業者5社及び元受企業  
県内企業(建設工事、施設・機器設備のメンテナンス、ものづくり、サービス関係)
- ・概要： 原子力事業者による発注計画や、新規参入に必要な手続等の説明  
原子力事業者等と県内企業との個別面談による情報交換

### 2. 「原子力関連ビジネス振興検討会議」の開催

原子力事業者と関係機関が参集する会議体を設け、県内企業の受注拡大に向けた具体策を検討し、原子力事業者による発注拡大に向けた取組や、事業者同士や関係機関と連携した取組を推進する。

- ・開催： 青森市内で数回開催
- ・概要： 県内企業の受注拡大及び人材育成に関し、原子力事業者及び関係機関による意見交換を実施

### 3. 原子力関連ビジネスコーディネーターの設置

原子力関連ビジネスに精通した専門家による、県内企業の新規参入等に必要なアドバイスや原子力事業者等とのマッチング支援を行う。

## 2. ① 日本原燃(株)に係る地域振興

### 【雇用】

- ✓ 日本原燃(株)の**社員数は3,107人**、そのうち**県内出身者数は2,095人**、**地元割合は67.4%**。また、昭和61年度以降の新規採用者数は3,009人、そのうち県内出身者は2,261人、地元割合は75.1%。(令和7年4月1日現在)
- ✓ 日本原燃(株)**関連企業の社員数は4,669人**、そのうち**県内出身者数は4,054人**、**地元割合は86.8%**。(令和7年4月1日現在)

### 【工事発注】

- ✓ **立地受入(昭和60年度)から令和6年度までの工事等に係る発注額は5兆9,118億円**、そのうち地元発注額は1兆1,355億円、**地元割合は19.2%**。また、直近の**令和6年度の地元発注額は784億円**。
- ✓ **立地受入(昭和60年度)から令和6年度までの建設工事等に係る延べ就労者数は3,251万人日**、そのうち地元就労者数は2,253万人日、**地元割合は69.3%**。また、直近の**令和6年度の地元就労者数は120万人日**。



再処理工場 着工当時 (1993年)



再処理工場・MOX燃料工場 全景 (現在)



地元企業が設備保全を行う様子

## 2. ① 日本原燃(株)に係る地域振興の取組

### ● 保全業務見学会（県内企業の参入促進）

地元企業の新規参入を促進するため、再処理工場での実際の保全業務を視察する見学会を2022年から実施。

これまで7回実施し、延べ43社6団体が参加。2023年には六ヶ所村内の企業1社が新規参入。



協力会社社員が電気設備の点検をする様子

### ● 放射線・エネルギー及び原子燃料サイクルに関する講義等（人材育成）

中学校や高校を対象とした放射線・エネルギーに関する出前授業を2008年度から実施。令和7年度は、中学校23回、高校2回、大学3回の合計28回（27校1,582名）実施。

高校や大学を対象とした原子燃料サイクルに関する講義を2022年度から実施。令和7年度は、高校17回、高専8回、短大3回、大学28回の合計56回（11校2,174名）実施。

六ヶ所村が実施している「高校生未来プロジェクト」に今年度から参画し、講師を派遣。



八戸学院大学での講義の様子

### ● げんねんジュニアロボットコンテスト（人材育成）

小中学生を対象に、「科学する楽しさ」を体験し、科学に対する興味や物づくりへの関心を深めることを目的に2000年から開催。

これまで、県内全域の発明クラブから約5,000名が参加。最先端企業でロボット開発に携わったり、日本原燃(株)で技術者として活躍している。



ロボットコンテストの様子

### ● 「あおり旬紀行」「六景楽市」（県産品の消費拡大）

2006年度から、県産品パンフレット「あおり旬紀行」を、お中元期とお歳暮期の年2回作成。社員・協力会社、全国の電力会社に配布しているほか、出店者を招いて、日本原燃(株)・協力会社社員に向け、即売会を実施。

また、地元食材の知名度向上を目指し、2006年度、地域の商工会と共に「六景楽市」ブランドを立ち上げ。2023年から東京で六景楽市「あおり応援フェス」を実施。



即売会の様子

## 2. ② 東北電力(株)に係る地域振興

### 【雇用】

東北電力(株)の県内原子力関連社員数は235人、そのうち県内出身者数は125人、地元割合は53.2%。(令和8年1月1日現在)

### 【工事発注の考え方】

東北電力(株)は、東通原子力発電所の建設当初から、「地域社会との共生」という経営理念に基づき、地域振興や地域経済の活性化に貢献するため、工事の発注や工事資材・生活用品などの注文は、建設関連従事者の雇用を含め、優先的な地元活用を基本的な考えとして、自社はもちろん、建設に関わる工事会社やプラントメーカーなどの各企業にも理解と協力を得ながら地元活用に取り組んでいる。



除草作業



伐木除根作業



緑化維持管理作業

## 2. ② 東北電力(株)に係る地域振興の取組

### ● 東通原子力発電所立地地域事務所の開設（地域の賑わいの場、交流の場の提供）

東通原子力発電所立地地域事務所を2022年3月に開所。「あがさいホール」やテナントスペース内の商業施設「プチマート東通店」は、2025年4月に開業3周年を迎え、地域の賑わいの場・交流の場となっている。



東通原子力発電所 立地地域事務所



あがさいホールでのイベントの開催  
「東通の郷土芸能と食を楽しむ会」 「こども縁日」



プチマート東通店  
オープン1周年セレモニー

### ● 東通村観光物産展の開催（地域の魅力発信）

2025年7月、仙台市内の東北電力(株)PR施設において、観光物産展を主催。

また、仙台駅構内の催事スペースにおいて、9月には県内19市町村、11月には下北地域の5市町村による観光物産イベントに協賛。

### ● 「地域を知る活動（講演会など）」の開催（地域の魅力発信）

地域住民を対象とした「地域を知る活動（講演会など）」の開催や、広報誌「しおさい」を通じて、東通地域の魅力を発信。



村民カレッジ



「しおさい」：東通村内の全戸訪問活動  
等で配布

### ● （一社）ひがしどおり共生パートナーズによる取組（地域との共生）

防災対策をはじめとする東通村が直面している地域課題の解決に取り組み、原子力発電所と地域との共生を深めていく。

## 2. ③ 電源開発(株)に係る地域振興

### 【雇用】

電源開発(株)の県内原子力関連社員数は132人。(令和7年3月31日現在)

### 【工事発注の考え方】

電源開発(株)は、国の新規制基準の適用を受けない工事や品質維持工事等について、可能な限り、北通り三ヶ町村及び県内の企業活用をメーカー等へ依頼。その他必要な物資や業務についても、可能な限り三ヶ町村から優先的に調達・発注。サイト以外においても社宅等地元に発注。



南側工事用道路地盤改良工事



敷地造成工事



社宅新築工事

## 2. ③ 電源開発(株)に係る地域振興の取組

### ●「青森県・下北半島物産フェア・写真展」の開催（地域の誘客・P R）

2025年5月、大間町を含む下北5市町村への誘客・P Rイベントとして、電源開発(株)本店（銀座）において、「青森県・下北半島物産フェア・写真展」を開催。



青森県・下北半島物産フェア



青森県・下北半島写真展



物産フェアチラシ

### ● 学校教育への協力（学習応援）

小中学校への電気の授業、科学教室、地層見学会、大間高校への大間高校へのエネルギー講演会・サイト見学などへも継続して取組中

### ● ヘリコプター発着場の整備

災害発生時の安心・安全を確保するため、ヘリコプター発着場の舗装整備を本年春頃に実施予定



小学校の電気の授業

## 2. ④ リサイクル燃料貯蔵(株)に係る地域振興

### 【雇用】

リサイクル燃料貯蔵(株)の**社員数（役員除く）は82人**、うち**地元出身者数は21人**、**地元出身割合は25.6%**。（令和8年2月1日現在）

### 【工事発注の考え方】

リサイクル燃料貯蔵（株）は、むつ市に本社を置く企業として、会社設立当初から地元活用や地元雇用等に努めてきた。工事、委託等の発注においては、むつ商工会議所をはじめとする関係諸団体等と連携しながら、今後も地元企業の参入促進を図っていく。



第2 備品管理建屋（外観）  
※2025年9月完成



第2 備品管理建屋（内観）

## 2. ④ リサイクル燃料貯蔵(株)に係る地域振興の取組

### ●各種スポーツ大会等の開催（地域交流の場の提供）

#### ORFSカップ少年サッカー大会

- ・本大会は、青森県内の小学生サッカーチームの交流、県内のサッカーレベルの向上等を目指して2007年度より開催。
- ・今年度は、青森県内から17チーム（U-10：10チーム、U-8：7チーム）が出場。



#### ORFS杯ママさんバレーボール大会

- ・本大会は、むつ・下北地域のママさんバレーボールチームに所属する女性たちの交流の場、日ごろの練習成果を発揮する場として2005年度より開催。
- ・今年度は、むつ・下北地域から7チームが出場。



#### ○絵画コンテスト「子どもたちの描くむつの未来像 未来の街を描こう」

- ・2024年11月の事業開始を記念して開催。むつ市の将来を担う小学生を対象に自由な発想で地域の未来像を描いていただく取り組み。119作品の応募。



Presented by RGS リサイクル燃料貯蔵

## 2. ⑤ 東京電力ホールディングス(株)に係る地域振興

### 【雇用】

東京電力ホールディングス(株)の県内原子力関連社員数は約130人。  
(令和8年1月1日現在)

### 【工事発注の考え方】

東京電力HDは、地域に根ざし、事業を進めながら、地域の未来にも貢献していくための方針として「青森行動計画」を策定している。その中で「持続可能な地域の共創」を掲げ、これまで、発電所の建設に係る掘削工事や発電所の付帯設備に係る工事、社宅・寮の運営のほか、新社屋の新設工事などにおいても、パートナー企業に理解と協力を得ながら、多くの地元企業に協力いただいている。



倉庫外壁改修工事



管理用道路設置工事



既存林整備業務

## 2. ⑤ 東京電力ホールディングス(株)に係る地域振興の取組

### ● 東通ヘッドオフィスの開設（地域交流の場の提供）

東通村ひとみの里エリアに建設。2025年11月より入居を開始し、施設の一部を12月から一般開放。



ワークラウンジ



コインランドリー

オフィス機能に加えて、シェアオフィスやイベントスペースを備える。

＜オフィス棟＞ nooquOFFICE（ノークオフィス）2階建

社員寮のほか、地元の方も利用できるコインランドリー、食堂、ブックコーナーを設置。

＜住居・交流施設＞ nooquLIVING（ノークリビング）3階建

### ● （一社）東通みらい共創協議会による協力（持続可能な地域づくり等への貢献）

長期的な時間軸の中で資金を拠出し、持続可能な地域づくりや原子力事業の基盤整備等につながる事業に貢献。（定住促進、除雪、子育て関係事業ほか）

また、地域の特産品のギフトカタログを制作し、通信販売を展開。



ギフトカタログ

### ● 学習応援活動「TEPCOふれあいくらぶ」・エネルギー教室（学習応援）

村全域の小学生を対象に、月に1回程度開催。社員による小学生の宿題のサポートやレクリエーション活動を実施。また、東通小学校を対象としたエネルギー教室を開催。

### ● 東通物産品の積極的な販売・購入（地域の魅力発信）

東通物産品の食堂メニューや本社販売会を開催。



宿題のサポート